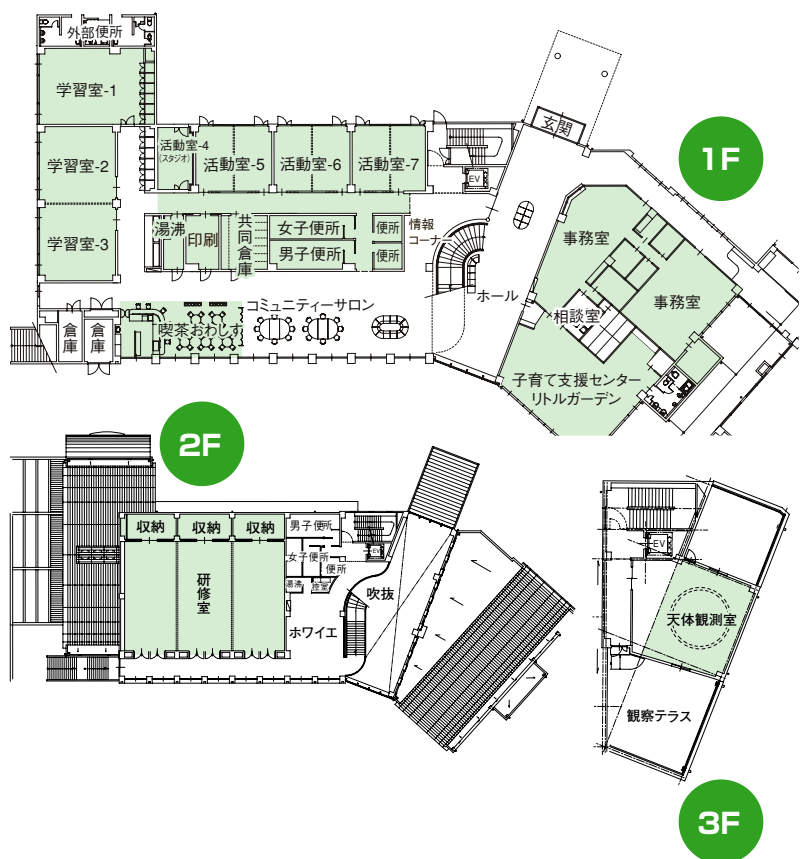


## 特集

# 子どもから高齢者まで生涯を通して楽しめる！ かふか生涯学習館

甲賀町の鹿深夢の森にある「かふか生涯学習館」を皆さんはご存知ですか？…生涯学習館という名前のとおり、小さなお子さんから高齢者までが生涯を通して楽しめる施設です。では施設の中に入ってみましょう！

### ●平面図





100インチの大型スクリーン



### 玄関ホール

まず入口に入って目に入るのが巨大な大型スクリーンです。このスクリーンには当日の各部屋の使用状況や、周辺で行われるイベント情報などが表示されています。

### コミュニティーサロン・談話コーナー

玄関ホールから見える大きなガラスに囲まれた部屋はコミュニティーサロン。小高い丘に建てられた施設ならではの景色を眺めながら、ミーティングやコミュニケーションの場として利用できます。またここにはグランドピアノが1台置かれ、自由に演奏をできる環境も整っています。



性別、年齢を越えた交流の場

### 喫茶「<sup>(和)</sup>おわしす」

コミュニティーサロン内にある喫茶店です。素晴らしい景色を眺めながら、憩いのひとときが過ごせます。ここではコーヒーや、紅茶、ジュースなどのメニューがありますのでぜひ来られた際にはご利用ください。

営業時間 ● 10:00～16:00



美しい景色を眺めながら

### 子育て支援センター「リトルガーデン」

玄関ホールから子どもの声が聞こえてきます。ここでは子育て支援センターの機能も兼ね備え、子育ての悩み相談や、家族と子どもたちとの遊びの支援などを行っています。

同じ悩みをもつ保護者の方たちが集うことで、情報を共有でき改善にも役立っています。

#### 【利用時間】

火曜日～土曜日 9:00～17:00  
\*日・月曜日は休み



床暖房が入り子どもも安心



可動式の間仕切りを取り除けば1つの広い部屋になります。



## 学習室1

壁には大型の鏡が設置され、ダンスや舞踊、コーラスなどの練習に利用できます。

ステージ発表の練習ができます

## 学習室2・3

部屋間に可動式の間仕切りを設け、学習室2・3をひとつの部屋としても利用できます。また備えてある机には杉の間伐材を利用し、環境にも配慮しています。

## 活動室4(スタジオ)

この部屋には、ドラムセットやギターアンプ、ミキサーなどの音響設備が備えられており、歌やバンドの練習などに利用できます。

\* 利用される方(団体)は事前に登録が必要になりますので詳しくはお問い合わせください。



防音の部屋で練習できます。



内容に応じて様々な利用ができます。

## 活動室5・6・7

この部屋にも可動式の間仕切りを設け、部屋を仕切れば最大6つの部屋に分割することができ、様々なサークル活動に利用できます。

活動室5・6・7は午後10時以降の閉館後も利用できます。ただし戸締りや、鍵の返却は利用される方(団体)で自主管理をお願いします。詳しくはお問い合わせください。



2階

## 研修室



200インチのスクリーン

約200人が利用できる大きな部屋です。この部屋には200インチのスクリーンがあり、映画会や発表会なども行えます。また音響や映像、照明設備の操作が簡単に行えるようにタッチパネル式となっています。

この部屋も3つに分割でき、様々な内容での利用が可能です。

3階

天体観測室



関西でも屈指の望遠鏡

今後の天体観望室を使つての活動は？

現在の活動は、月2回（第2、第4土曜日）の定期観望会です。当面はこの活動を継続していきますが、将来は観望会の毎週開催や、学術的な観測が行えるようにしたいと思っています。そのためにも観望会を運営するスタッフを更に募集したいと考えています。

また、5月から小学校高学年以上を対象とした『かふか子ども天文クラブ』を立ち上げました。23名の参加申し込みがあり、月1回のクラブ活動で子どもたちの科学や宇宙に関する興味や取り組みを支援したいと考えています。

さらに、天体写真に興味をお持ちの方々を対象とした天体撮影クラブ等についても計画中です。

天体観測室では  
どのようなことができるの？

主望遠鏡は、口径254mmの屈折望遠鏡です。その他に口径100mmの屈折望遠鏡、口径80mmの屈折望遠鏡があります。この主望遠鏡では、人間の目で集められる光の1300倍の光を集める（集光力）ことができます。望遠鏡の基本性能は、この集光力に代表される“いかに多くの光を集めるか”で決まります。

かふか生涯学習館の主望遠鏡は、直径254mmのレンズを持ち、その性能・大きさは関西でも屈指の、最近では国内でもめずらしい望遠鏡です。この望遠鏡で見える最も暗い星は、肉眼ではまったく見ることができない13.8等星で、たとえば非常に接近した2つの星（2重星）を分離して見ることができます。

口径100mmの屈折望遠鏡は、太陽観察を専門に行える装置が付属しており、夜間だけではなく昼間の太陽観察ができ、太陽黒点を直接目で見るすることができます。これらの望遠鏡はコンピューターによる制御方式で、モニターに表示される星図から目的の星を指示すると、望遠鏡が自動的に動いて天体を導入することができます。この時ドームも望遠鏡に連動して動き、常にスリット（ドームに開いた窓）から星空を見ることができます。

また、ビデオカメラを接続することができるので、1階のプロジェクタースクリーンや2階研修室のスクリーンにリアルタイムで太陽や星の映像を映すことができます。また、デジタルカメラやカメラ付き携帯で、望遠鏡で見えている月や惑星の撮影が可能です。

6月～7月に見える天体って？

6月、7月ともに中旬頃に、月が見やすくなります。拡大してみると月のクレーターをくっきりと観察することができます。特に欠けぎわは月の地形がよく分かり、月の山の長く伸びた影も見ることができます。望遠鏡での月の観察には満月は適しません。あまりにも明るすぎて、目が痛くなります。観察に適した月は、三日月から半月くらいがよい状態です。

また、木星が見ごろとなります。木星は太陽系最大のガスでできた惑星で、直径は地球の11倍もあります。ガリレオが発見した4つの衛星もきれいに見えます。木星は10時間足らずの猛スピードで自転しており、赤道に沿って強風が吹き荒れています。このため望遠鏡で見ると、いくつもの横縞模様が見えます。また、横縞模様以外に大赤斑と呼ばれる赤い楕円形の斑点を見ることがもできます。

## 観望会に参加された方の反響は？

定期観望会は初めにその月の天文現象の紹介を行い、その後3階の観測室で望遠鏡による天体観察を行っています。観望会へは子どもたちの参加が多く、ビデオや写真などを使って分かりやすいお話を心がけています。当館の望遠鏡は、惑星を観察するのに適した望遠鏡で、初めて土星や木星を見た方々は口々に“すごい”、“美しい”と歓声を上げておられます。観測室の外は観望テラスになっていて、実際の夜空を見て明るく輝く星や星座についてスタッフがお話すると、「ああ、あれがベガか」とか「あれが夏の大三角か」などと話が弾んでいます。また、望遠鏡の購入相談等もあり、観望以外にも宇宙や天文に関する話題で盛り上がることもあります。



こんな大きな望遠鏡で星空を見られます。

## 鹿深夢の森・星空作戦を展開

鹿深夢の森周辺にはたくさんの施設があり、常時人々で賑わっています。生涯学習館では夜間もサークル活動が活発で、周辺の駐車場は多くの車が出入りしています。このため、生涯学習館周辺は街灯が多く、空が明るいため天文活動を行うには残念ながらよい環境ではありません。ただし、生涯学習館の望遠鏡が性能を発揮できる惑星観察には、大きな影響を及ぼさず特に支障はありませんのでご心配なく。しかし、観望テラスへ出ると街灯の光が直接眼に入るため、星空が見にくくなります。今後、写真撮影等を行う計画がありますが、夜空が人工照明で明るいと十分な露出がかけられず、品質

のよい写真が撮れません。

そこで、この人工照明が夜空に広がらないような対策を要望する一環として夜空を暗くするために各方面へ訴えていきたいと考えています。キャッチフレーズは、“鹿深夢の森・星空作戦”と銘打って、周辺の照明器具に上方へ光が出ない器具への変更、または、既存の街灯に笠をかぶせて同じく上方へ光が出ない星空環境を作ってはどうかと考えています。

今後鹿深夢の森周辺の人工照明が、すべて空に光が出ない状態になれば広い芝生広場で寝転がって星空を楽しむことも可能になるでしょう。

## 「まなび・たいけんフェスタ2005inかふか」開催！

3月27日(日)、当館を主会場に『まなび・たいけんフェスタ2005inかふか』が開催されました。このフェスタは、当館に利用登録されている団体やサークルの日頃の学習や活動の成果を発表し、互いの交流を図る場とすることを目的としたものですが、昨年5月に開館した当館では初めての開催となりました。当日は、天候にも恵まれ、市内外から500名を超える多くの方にご来場いただき、各団体やサークルによる作品展示やステージ発表、さまざまな体験などを通じて新たな発見や参加者同士の交流をしていただくことができました。中でも、地震と同じ揺れを人工的に発生させることができる「地震体験車」は、近いうちに南海・東南海地震が高い確率で発生し、近畿地方にも甚大な被害を及ぼすことが予想されている中、昨年暮れから新潟や福岡、インドネシアなど国内外で大地震が頻発していることもあり、参加者の関心は非常に高く、多くの方が“震度7”の揺れを体験されるとともに、大地震に備えての心構えなどを熱心に学ばれていました。

また、災害時などに用いる非常用食料のアルファ米を試食された方からは、その意外なおいしさや水だけでも調理できるということなどに驚きの声が上がっていました。

午後に行われたミニコンサートは、第1部がハーブ、第2部がクラリネットと卓上楽器によるアニメ主題歌やクラシック音楽などの演奏で、子どもたちが音楽に合わせて歌ったり踊ったりしている姿も見られ、終始和やかな雰囲気の中で行われました。それぞれの演奏終了後には楽器の演奏体験もあり、

特に第2部では、参加者が“しゃもじ”や“おたま”など身近にある音の出る小物を使ってプロの奏者とセッションをするというちょっと変わった体験も行われました。

今後も、より多くの方に「生涯を通じて楽しく学んでいただく」ためのきっかけとなるようなフェスタを、皆さんとともにアイデアを出し合いながら開催していきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

参加者に人気あった地震体験車



ハーブを実際に演奏する参加者



## 子育て支援センターの活動

甲賀子育て支援センター《リトルガーデン》がオープンして1年が経ちました。お母さんとお子さんで遊ばれたり、おばあちゃん・おじいちゃんがお孫さんを連れて来ていただいたり、またお父さんとお子さんでいっしょに絵本を読んだり、ブロックや線路を組み立てて汽車ごっこを楽しんだり、自由にセンターの空間をご利用いただいています。時には、親戚同士で来られたり、ご家族や友人同士のグループで来られとても賑やかです。

“子育て”は不安ばかりですね。また、一人で背負い込むと大変です。「私が!」「自分でないと!」と思いつもり、肩肘を張ったりすることで子どもにがんじがらめに縛られ悩んでしまうことも出てきます。「ちょっと心配だな・・・」「こんなことはどうかな?」など子育てに関するいろいろな不安・悩みをご相談ください。みんなで子育てを楽しみましょう! 子どもは家庭で育つものですが、子ども同士で、また地域でも育つものです。結婚して来られた方・ご主人の転勤で来られた方・心機一転再出発された方等様々な方がいろいろな思いで子育てをされています。いろいろな方の意見を聞いたり、仲間を作っているいろいろな体験活動に参加してみたいかがでしょうか?

甲賀子育て支援センター《リトルガーデン》は火曜日～土曜日の午前9時から午後5時まで開館しています。主な事業は、火曜日午前中の町内の方対象の「リトルひろば」や地域の公民館等に出向いての「おでかけリトルひろば」でいろいろな遊びの提供をしています。また、ツイーンズ・キッズ(毎月最終水曜日)で市内対象に双子の子どもさんを持つ方の情報交換の場や、ひよこサロン(毎週金曜日・0～1歳児対象)では、お母さんのための勉強会もしています。

さまざまな子育て支援や相談、また子育て情報の発信を各支援センターや関係機関と連携をとりながら充実させていきたいと考えていますので、皆さんからのご意見・情報をお待ちしています。

## 周辺施設との連携

“鹿深夢の森”は、他にも“甲賀創健館”や“甲賀図書情報館”、“四季彩館”、“甲賀観光センター”などがある複合型施設となっています。また、芝生広場には“忍者の砦”と名付けられた総合遊具も整備されており、休日には県内外からも多くの家族連れが訪れています。

今後は、こうした複合型施設としての特性を生かし、共同でイベントを開催するなど、より多くの方々に楽しみながら学んでいただけるような事業を展開していくとともに、市内各公民館など他の生涯学習施設との連携を図りながら、生涯学習のまちづくりに向けた活動を展開していきたいと考えていますので、ぜひ、皆さんのご意見をお聞かせください。



リトルひろばでの手作りこいのぼりの様子



お母さんのための勉強会

# かふか生涯学習館

〒520-3431 甲賀市甲賀町大原中886  
☎ 88-4100 FAX 88-5055

